

身近なところでいごとたくさん

## 校区社会福祉協議会の福祉活動

— ふれあい・いきいきサロン —

ふれあい・いきいきサロン活動とは、身近な小地域（自治会等）を単位として、高齢者や障害者、児童など地域住民とボランティアと一緒に企画し、運営する「仲間づくり」「健康の維持・増進」「生きがいがづくり」を進めるための活動です。市内には、こうしたサロンと呼ばれる「集いの場」が260か所以上あります。

### 柴刈校区「片の瀬新町お楽しみ会」

「片の瀬新町お楽しみ会」は、片の瀬新町自治会を中心に立ち上がった柴刈校区内で初めてのふれあい・いきいきサロンです。片の瀬新町公民館で活動をしています。

サロンでは、講師を招いた講座や、ボランティアによるレクリエーション、食材を持ち寄って食事作りをするなど自由に楽しめる場になっています。

この日、参加されていた阿久根トミさん（93歳）にお話を伺うと、「最近では、一人暮らしのお年寄りだけでなく、家族と同居されているお年寄りさえも寂しい思いをしている。このような集いの場合は、地域の人や家族、みんなの思いやりの気持ちであふれる大切な場所。住民が他人事じゃなくて、我が事と考え、ぜひ他の自治会でもこういう場所を作ってもらいたい。」と話されていました。

講座やレクリエーションは住民が集まるきっかけであり、サロンの食事作りや語らいが、参加者の皆様にとつて月1回のお楽しみと なっています。



この日もみんなで楽しくお食事中

## 地域包括ケアシステムの構築にむけて⑤

今回は、金島校区支え合い推進会議の井上会長にお話を伺いました。



### 支え合い推進会議について

金島校区支え合い推進会議 会長 井上 一也さん

少子高齢化が急速に進む中、金島校区での高齢化率は本年6月現在で37.1%と久留米市においても上位に位置しています。また、核家族化が進み高齢者の一人暮らしや、高齢者のみ世帯が増加している中、隣近所との交流も希薄化しているように思われます。このような状況において、住み慣れた場所で安心して暮らしていくには、やはり近隣の住民同士による見守りが必要となっています。

そのような折、久留米市より「支え合い推進会議」の設置について事業説明が行われ、平成32年度までには全校区での普及を目指していると知りました。金島校区まちづくり振興会においても、取り組むことを決定し、平成28年8月にいち早くスタートしました。

当初は委員の選出に時間がかかりましたが、27人の役員方の参加のもとに取り組みを開始しました。現在は、定期的に会議を開催しています。

#### 支え合い推進会議

地域で福祉やまちづくりに取り組む様々な人々が参加し、地域で困っている人に気づき、支え合う仕組みづくりについて生活支援コーディネーターの協力の下、協議する場のこと。久留米市では平成32年度までに全46校区に設置することを目指しています。

#### 地域包括ケアシステム

介護や支援が必要な状態になっても住み慣れた地域で生活できるよう、医療・介護・生活支援などが包括的に提供されるしくみ。